

ユニ 通信

2010年

5月17日(月)

No.5523

1956年5月7日 第三種郵便認可
毎週月・木曜日発行 1ヶ月 ¥7,350(税込)
発行：飯澤剛
編集：齋藤浩一

ユニ通信社

東京都千代田区神田司町2-10
神田司町国士ビル2F 〒101-0048
TEL : 03-5256-1521
FAX : 03-5256-1525
E-mail : uni@uni-press.net

探す人とお寺を結びつけるネット上の“情報誌”

ワイワイカンパニー「納骨堂インフォ」

女性の目線で情報提供／愛ある作品創りと妥協しない企業姿勢を貫く



様々な疑問に答える「相続・遺言アドバイス」、亡き人の思い出を語り合う投稿型コンテンツ「思い出サロン」のほか、健康・美容から美しい人生を考える「健美くらぶ」等のコンテンツを提供している。〈愛ある作品創りと妥協しない企業姿勢により、常に新しいことにチャレンジしていきたい〉というワイワイカンパニー代表取締役エグゼクティブプロデューサーの山田百合子氏に、今回の「納骨堂インフォ」のコンセプトや概要とともに、ワイワイカンパニーおよびグループ会社㈱ワイツーにおけるクリエイティブのコンセプトなどについて聞いた。

全てにおいてモータースポーツの経験・ノウハウが活かされている

ワイワイカンパニー代表取締役の山田百合子氏は1987年、映像制作会社としてワイツーを設立。今年23年目に入るが、設立当初から変わらないコンセプトは“愛ある作品創り”。また、仕事に関して妥協しない姿勢を貫いてきたという。

山田氏は〈創立当初、ワイツーの大きな柱はモータースポーツでした。テレビ朝日のル・マン、フジテレビのF1中継やNHKの鈴鹿8時間耐久レースなど、当初は各社ともノウハウを持っていなかったので、ワイツーが撮影制作を担当させていただきました。また、“女性”と

マーケティングから企画・制作、イベント、PR、媒体出稿まで、トータルな広告提案を行うワイワイカンパニー㈱がこのほど、Webサイト「納骨堂info（納骨堂インフォ）」をオープンした。「納骨堂インフォ」は、“納骨堂をお探しの方とお寺様を結びつけるインターネット上の情報誌”をコンセプトに、女性ならではの視点で立ち上げた情報コミュニティサイト。納骨堂・永代供養墓の検索から別れを演出する各種サービスまで、ワンストップで提供する。お寺の検索・一覧表示のほか、専門家が法律上の



山田百合子氏

いう点もポイントだったと思います。ドキュメンタリータッチやスポーツティストで「速さ」を表現する映像が多い中、美しさや情緒など、それまでとは違った角度からモータースポーツを捉えた映像制作が評価を得ました。このモータースポーツは、現在でもワイヤーおよびワイワイカンパニーの原点です」とする。

また、ワイヤーでは初の心臓手術のハイビジョン生中継も手がけた。その際、衛星での生中継は大変なコストがかかることがわかったため、様々な可能性を秘めているインターネットにいち早く着目して、業務拡大を目指してワイワイカンパニーを設立。最先端であるアメリカを取材し、日本で最初のインターネット導入ツールを企画制作している。さらに、非常に早い時期にワイヤーとワイワイカンパニー間でLAN構築も行っている。

〈ワイワイカンパニーでは、企画から制作、運営までワンストップで行うビジネスをメインに行っていますが、これはワイヤーにおいて映像制作だけでなく企画のコンセプトワークに関しても手がけてきたおかげだと思っています。モータースポーツ、心臓手術のハイビジョン生中継は全く違う世界のように見えますが、実は「命がけである」という点で共通しています。また、失敗が許されない。特殊なノウハウと一瞬の判断力、特撮の技術力などを活かしたコンテンツ制作が必要です〉

ワイワイカンパニーでは現在、企業の広報宣伝に関するアウトソーシングがビジネスの中心となっている。最初の案件は京セラコミュニケーションシステム(株)創立直後の広報宣伝関係のアウトソーシングだった。

〈ワイヤー＆ワイワイカンパニーが相乗効果を発揮しながら、今で言う“クロスメディア”的な展開が必要になると15年前から考えていました。私たちが企画から制作までトータルに手がけてきたからこそ、またモータースポーツで鍛えられ様々な現場経験をしてノウハウを蓄積してきたからこそ可能なものだったと思っています。根本的な考え方やチャレンジする気持ち、常にお客様が望む以上のものを提案していくことを忘なければ、どんな仕事でもできると考えています〉

チャリティイベント「夢のかけ橋プロジェクト」

ワイワイカンパニーではワイヤーと共に、2004年から子供たちの未来を応援するチャリティイベント「夢のかけ橋プロジェクト」を展開している。

〈2000年に脊髄炎にかかってしまった際、お医者様が「今のあなたには神様が何かメッセージしよう



としているんだ」とおっしゃった言葉が私を支えてくれました。そこから「子供たちに夢を与える何かをしたい」という考えに至りました。「夢」を持つことはすごく大切なことだし、生きる原動力になる。親と一緒に住めない養護施設の子供たちが沢山いることも知り、自分ができる範囲でその子供たちが少しでも夢を持てるような機会を作りたいと…。元F1ドライバーの片山右京さんにもご賛同いただき、ご協力いただいている。当初はモータースポーツで知り合ったア

イルトン・セナ没後10年の追悼イベント企画もあり、会場で彼の映像を上映することを計画していましたが、権利関係から実現できませんでした。でも、「生

まれてくる子供たちには全て平等にチャンスが与えられている」という彼のメッセージは、映像がなくても伝わるはずと考え、イベントの開催を決めました。第1回の開催は、偶然にもセナの命日の5月1日となりました。2010年には第7回を迎ますが、スタート当初の子供たちが大学生や社会人となり、新たにボランティア活動をしていきたいと言ってくれるなど、素晴らしいつながりが生まれています。後に続く子供たちの励みになって欲しいですね。この活動は今後も積極的に進めていきたいと思っています〉

また、2007年には芋焼酎「右京」の販売を開始。売上の5%は「夢のかけ橋プロジェクト」へのチャリティにつながっている。

〈クルマ、子供などのお酒? と悩みましたが、大人の特権であるお酒を楽しみながら、その一部が子供たちの夢を応援するチャリティにつながる。クリエイターが創る焼酎「右京」の名にふさわしい味とデザインにこだわりました。海外のサーキットでも飲んでもらえることを目指しました。また、今年6月2日には第2弾「右京」を発売開始します。新製品は麦焼酎で一升瓶。沢山の方に沢山飲んでいただ

くことができる価格設定なので、これを飲んでチャリティにご参加いただきたいですね〉

芋焼酎「右京」(左)と
新発売される麦焼酎「右京」

女性の目線で情報提供する「納骨堂インフォ」

ワイワイカンパニーが「納骨堂インフォ」を手がけるきっかけとなったのは、山田氏の友人の建築家が納骨堂を造るにあたってPRの相談をされたことだという。

〈納骨堂って…と最初は迷いましたが、色々とお話ししていくうちに、納骨堂の情報は入手しづらい一方、お寺も情報発信の手段がない。これからのお情報化社会に向けて必然的なニーズがあるのでないかと考えました。“納骨堂”をテーマとしたポ



納骨堂検索の画面



一タルサイトを企画しました

「納骨堂インフォ」のコンセプトは“女性目線”によるサイトであること。お寺を検索できるだけでなく、女性の立場から求められる情報を提供していく。料金や管理費など、実際にお寺には聞きづらいような情報や、バリアフリー・休憩所の有無などの情報を一覧表示するほか、お寺の情報では特に住職の顔とメッセージを掲載している。ユーザーにとってはお寺に行く前に自分の条件にあったお寺を選ぶことができる一方、お寺にとっても購入意欲を持った人からのコンタクトが増えていく「Win-Winの関係構築」を目指しているという。

さらに、遺言や相続に関する弁護士等のアドバイスを受けることができるほか、お弔い事情の最新情報、お婆ちゃんの知恵袋、「遺影加工サービス」など“女性目線”的なコンテンツが用意されている。

同サイトのビジネスモデルは、掲載するお寺

からの掲載料だ。

他の納骨堂関連サイトのビジネスモデルが「紹介料」であるのに対して、「納骨堂インフォ」では掲載するお寺からの掲載料を運営の柱としていく考え。

なお、10月まではオープンキャンペーンとして“無料”で掲載できる。必要なテキストデータやお寺の外観等の写真、動画ファイルなどを提供するだけで登録が可能だ。

〈このサイトは、掲載されるお寺の数がサイト自体の価値につながっていきますから、今後はより多くのお寺を掲載していきたいと思っています。サイトを見ていただき、もし気に入っていたら是非ご参加いただきたい。また、Webサイトをお持ちでないお寺も多いです

から、「納骨堂インフォ」のページをサイト代わりにもご活用いただけるのではないかと考えています〉

また、“納骨堂”関連の情報だけでなく、絵や写真などによって亡き人との思い出を語り合える「思い出サロン」(←写真)や、健康や美容にまつわるテーマに沿って選んだプロフェッショナルがブログを提供する「健美くらぶ」など、様々な入口を用意してユーザーをサイトに誘導しようと考えている。



大好きな南青山を元気に!!

情報ポータルサイト「南青山インフォ」

ワイヤーでは「南青山インフォ」という情報ポータルサイトの企画・制作・運営を行っている。ワイヤー代表取締役 企画演出 チーフディレクターの山田眞理氏は〈私たちちは23年間南青山にて、クリエイティブ的にも南青山にインスパイアされてきましたが、リーマンショック以降、南青山に元気がなく、寂しく思っていました。「南青山インフォ」は私たち自身が南青山に恩返しするつもりでスタートしたものです。ターゲットは南青山を愛する全ての人々。地域の方、南青山を訪れる人たちにとって使い勝手のいいサイトにしていきたいですね〉とする。

「南青山インフォ」では、実際にワイヤーのスタッフが撮影・取材した南青山にあるファッショングループ、ショッピングモール、美容、飲食、アートなどの情報をパノラマ写真やテキストで紹介。現在、242店舗が無償で掲載されている。また、Google map上に展開される地図情報は、オリジナル開発のアイコンによってカテゴリー分類などがわかりやすいものとなっている。

ワイヤーでは、モータースポーツを発端とした歴史ある映像制作に加え、グラフィック、Web、イベント、PRなど多様なメディアで企業のブランド創りを企画から撮影制作まで総合的に提案している。映像制作ではテレビCMに加えて、最近では女性目線による通販番組やインフォマーシャルのニーズも高まり、WebサイトではIT系、医療系などターゲットや目的に合わせた最適なサイト提案を行っているという。

クロスマediaに対応したワンストップの提案を

今後の活動について、山田氏は〈私たちの強みは映像制作力に加えて、メディアごとに異なるアプローチではなく“クロスマedia”で様々な提案が行えることだと思います。ワンストップで対応することでコンセプトにブレがなく、素材のワンソースマルチユースもできてコスト面でもメリットがあります。お客様に喜ばれることを考え、Win-Winの関係を築いていく。長くお付き合いをしていくためには、双方がハッピーであることが不可欠だと考えております。また、自分たちが持つ感性やクリエイティビティによって、常に新しいことに挑戦していきたいですね〉と話している。

◇納骨堂インフォ <http://www.nokotsudo.info/>

◇南青山インフォ <http://www.minamiaoyama.info/>

◇ワイヤー&ワイワイカンパニー <http://www.y2-yy.co.jp/>

